

## 安全性を追求した自走式コンパクトリフター

高度経済成長期に建設された橋梁の老朽化が進み、床版更新工事の需要は年々増加しています。一方で、建設業界では担い手不足や高齢化が深刻化しており、安全で効率的な施工手法の確立が求められています。床版更新機は、床版の撤去・架設作業を機械化することで、省人化、安全性向上を実現し、持続可能なインフラメンテナンスに貢献することを目的に開発しました。

### 特徴

#### 構造安定性

- ・低機高、低位置揚重
- ・脚伸縮機構  
(脚伸縮による吊荷の揚重)
- ▶ 吊荷の越境防止

#### 安全性向上機能

- ・反力・傾斜監視  
(各種計測センサー・制御装置)
- ・緊急時の自動停止機能
- ▶ 横転防止

#### 省人・省力化

- ・操作の遠隔化
- ・自走式移動機構
- ・トレーラー運搬可能
- ▶ 人力作業の削減

#### 多用途機能

- ・柔軟な脚の開閉角度設定
- ▶ 機幅の変更が可能
- ・1車線規制施工対応
- ・撤去・据付の分業/兼用施工対応

### POINT

床版更新工事以外  
にも適用可能

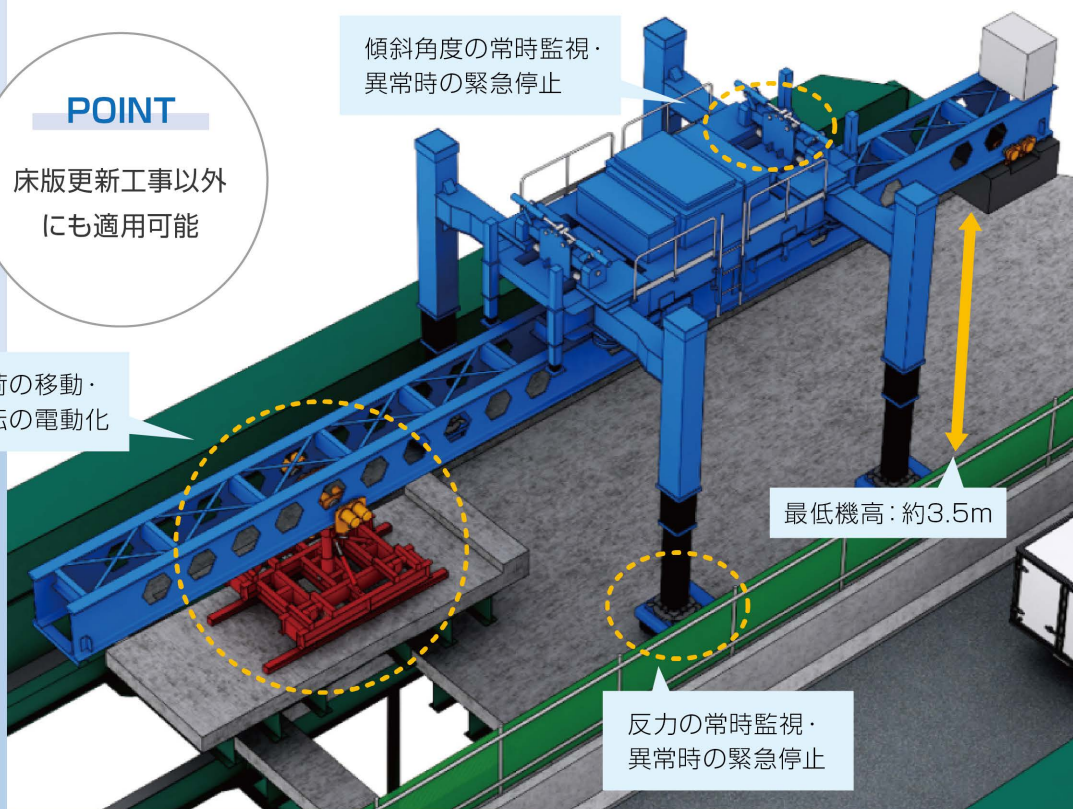
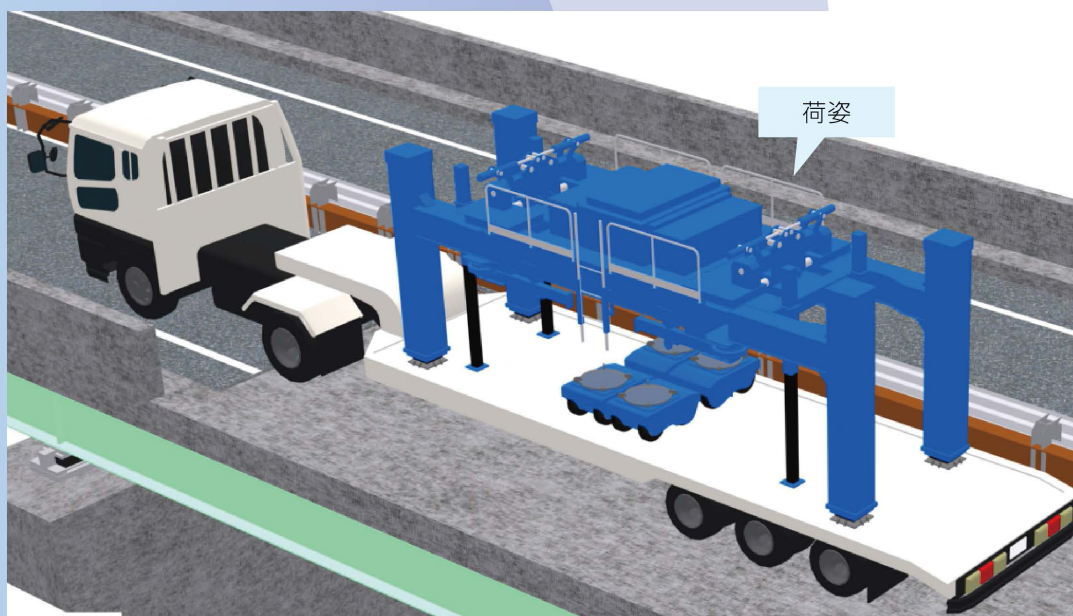
吊荷の移動・  
回転の電動化

傾斜角度の常時監視・  
異常時の緊急停止

最低機高：約3.5m

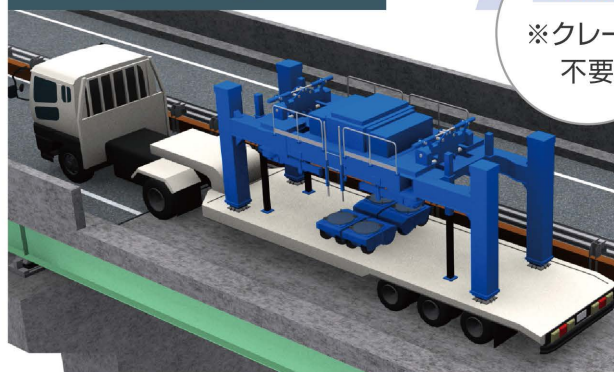
反力の常時監視・  
異常時の緊急停止

荷姿



## 自己組立ステップ

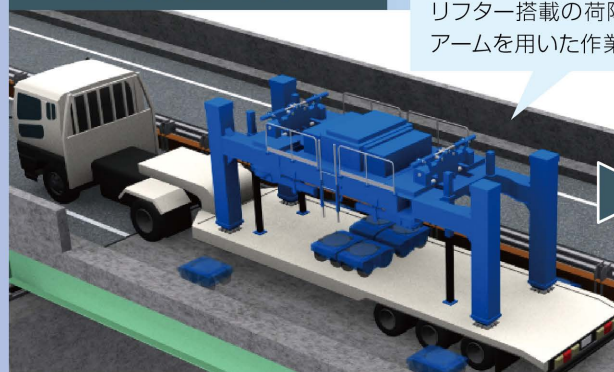
①リフター搬入



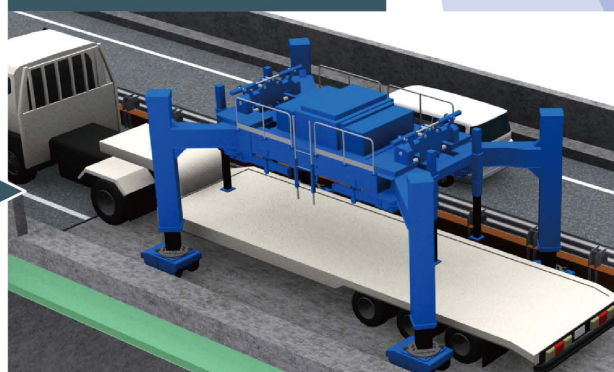
## POINT

※クレーン  
不要

②走行装置の荷降し

リフター搭載の荷降し用  
アームを用いた作業

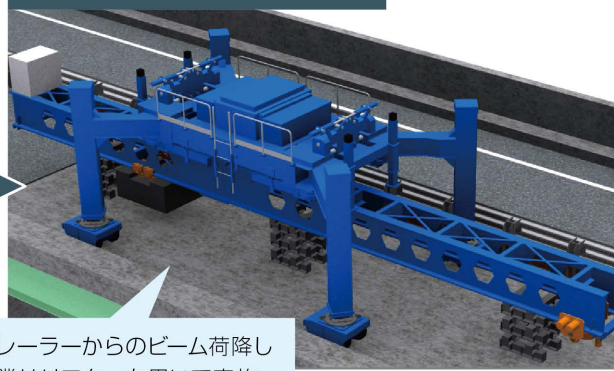
③走行装置のドッキング



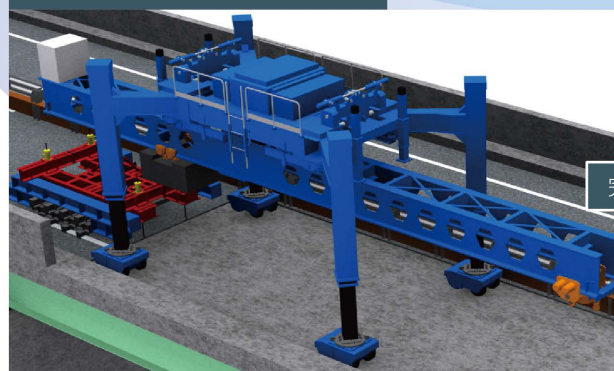
④トレーラーの搬出



⑤ビームの搬入・ドッキング

トレーラーからのビーム荷降し  
作業はリフターを用いて実施

⑥把持装置搬入・ドッキング



完了

## 主なスペック

|                 |                 |    |                             |           |
|-----------------|-----------------|----|-----------------------------|-----------|
| 構造              | サイズ<br>(脚中心位置)  | 前後 | Min:4m ~ Max:7m             | 脚の開き角度による |
|                 |                 | 左右 | Min:2m ~ Max:5m             |           |
|                 | 脚の開き角度          |    | 0° ,20° ,30° ,40° ,55° ,90° | 左の角度で設定可能 |
|                 | 脚の最大伸長量 (ストローク) |    | 3.6m                        |           |
|                 | ビームの幅方向移動量      |    | 左右 : ±225mm                 |           |
| 揚重スペック (片持ちタイプ) |                 |    | 最大揚重量:11ton                 |           |



## JFE エンジニアリング 株式会社

社会インフラ本部 改築事業部

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地

Tel.045-505-8911 Fax.045-505-6563

URL: <https://www.jfe-eng.co.jp>